

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農福連携による小谷村特産「小谷漬け」プロモーション
事業主体 (連絡先)	小谷村 観光地域振興課 集落支援係 0261-82-2589
事業区分	(1) 地域協働の推進 (6) 産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,834,600 円 (うち支援金: 1,211,000 円)

事業内容

野菜づくりに関わる作業などを農家と障がい者グループで実施して、小谷漬けの素材を確保する。農福連携による「農業の稼ぐ力を高める」とともに、更なる小谷漬けの知名度向上により「やる気」と「仲間づくり」を図り、小谷漬けによる障がい者などの居場所や生きがいづくりに繋げていく。また、村内事業所とワーカーズコープながのとの農福連携により、障害者福祉、産業振興、社会問題である人手不足解消が相互の協力で図れることが期待される。

できた農産物を加工して新しい商品を作り上げる・プロモーションにより注目度が高まり評価されることで、障がい者が農作業の労働者として働くだけでなく、達成感や生きがいを享受できる取り組みがモデル的・発展的な事業である。

事業効果

- 農福連携事業として、村内をはじめ8つの障害者福祉事業所などと連携し、年間91回、のべ380人の活動実施となった。
- 小谷漬け新商品開発として、道の駅小谷とJA大北により、小谷漬けを原料とした新たな商品開発と試作を実施した。
- 小谷漬けの販売促進に向けたプロモーションを行った。

① 小谷漬け販売促進PR

小谷漬けの炊き込みご飯について、1週間の期間限定で受託者の系列店の店舗で提供するとともに、受託者のグループ会社SNSにおいて投稿、情報発信ができた。

② レシピ監修

有名シェフによる小谷漬けを利用したレシピ(チャーハン)を監修。レシピ紹介動画をSNSで公開し、全国の多くの方に小谷漬けの魅力を発信できたほか、都内店舗において小谷漬けの販売を行い、1ヶ月の売り上げが前年の約4倍となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

農福連携事業については、6月に開所予定の地域活動支援センターを中心に、引き続き、取組みを進めていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(活動写真)

【目標・ねらい】

- ①農福連携による障害者等とのコミュニティづくり
- ②農福連携による産物の栽培と商品利用(小谷漬けへ利用)
- ③小谷漬けの販売プロモーション
- ④小谷漬けの二次加工品の研究開発

※自己評価【 B 】

【理由】

小谷漬けを使った商品開発とレシピができ、SNS等で情報発信を行った結果、一時的に小谷漬けの販売は上がったが、継続して流通するようにしていきたいため、今後の数値に期待しBとした。